

「明日の長野県農業を担う若人のつどい」の表彰式を行いました。

令和3年4月6日に佐久合同庁舎講堂にて「明日の長野県農業を担う若人のつどい」の表彰式を行いました。

「明日の長野県農業を担う若人のつどい」は令和3年2月16日にオンラインで開催され、佐久地域からはプロジェクト発表の部で佐久穂町の大塚潤也さん、意見発表の部で小諸市の稲垣佳代子さんが発表し、結果は下表のとおりでした。

オンライン開催により、当日に表彰式ができなかったため、4月6日に佐久合同庁舎講堂にて大塚さんの発表の様子を録画した動画を視聴し、続いて表彰式を行いました。また、稲垣さんは翌4月7日にほ場にて表彰状の授与を行いました。

大塚さんからは「作る人にも食べる人にも優しい農業を目指したい。今の時代だからこそできる、IoTを活かした農業をしたい」とのコメントを頂きました。稲垣さんからも「自分なりの営農スタイルを模索し、自由な農業のあり方を身をもって挺していく覚悟だ」と意欲的な意見が聞かれました。

	発表テーマ	佐久農業青年のつどい (R2.12.2)	若人のつどい (R3.2.16)
大塚潤也さん (プロジェクト発表)	IoTと有機トマト栽培	最優秀賞	最優秀賞 (県知事賞)
稲垣佳代子さん (意見発表)	新規就農だからこそその 自由なチャレンジ	最優秀賞	優秀賞 (長野県農業経営者協会会長賞)



大塚潤也さん（左）



稲垣佳代子さんりんご高密度植園にて



発表動画の視聴